

平成20・21・22年度宇治市教育委員会小中一貫教育研究指定校

広野中学校区 実践研究中間発表会

発

表

会

資

料

集



宇治市の宝木 ちゃの木

平成22年2月23日(火)

広野中学校区実践研究中間発表会

- 1 日 時 平成22年2月23日（火） 13:30～16:00
- 2 会 場 〔公開授業〕
宇治市立大久保小学校、宇治市立大開小学校、宇治市立広野中学校
〔全体会〕
宇治市立大久保小学校（体育館）
- 3 研究主題 「自分の気持ちや考えを伝え合うことができる児童生徒の育成」
～小・中学校の円滑な接続と一貫した指導を通して～

4 公開授業

学年・組・場所	教 科	単 元 名 ・ 資 料 名	授 業 者
大久保小学校 5年3組教室	外国語活動	「いろいろな衣装を知ろう」	三 谷 武 史 L a r r y L o m
大久保小学校 6年4組教室	理 科	「ものが燃えるとき」	森 光 志 朗 東 準 子
大開小学校 6年2組教室	算 数	「算数パスポート 図形」	稲 田 尚 美 三 浦 知 恵 子
広野中学校 体 育 館	道 徳	「夢」 社会人講師：吉川勝成(元オリックス投手)	市 橋 公 也 1年生学年教師

5 開会行事

- (1) 挨拶 宇治市教育委員会教育長 石 田 肇
宇治市立大久保小学校長 米 田 康 郎

(2) 日程説明

6 全体会

- (1) 研究発表 「広中校区小中一貫教育校研究指定2年間のまとめ」
宇治市立大久保小学校主幹教諭 市 橋 公 也
宇治市立大開小学校教諭 信 太 義 光
宇治市立広野中学校教諭 小 林 哲 也

- (2) 指導講評 宇治市教育委員会小中一貫教育課指導主事 本 田 慶 裕

- 7 閉会挨拶 宇治市立大開小学校長 加 賀 爪 毅

外国語活動学習指導案

指導者 T 1 宇治市立大久保小学校 三谷 武史
T 2 宇治市教育委員会 A E T Larry Lom

- 1 対 象 宇治市立大久保小学校 第 5 学年 3 組 男子 1 8 名 女子 1 8 名 計 3 6 名
- 2 日 時 平成 2 2 年 2 月 2 3 日 (火) 第 5 校時 (1 3 : 3 5 ~ 1 4 : 2 0)
- 3 場 所 宇治市立大久保小学校 第 5 学年 3 組 教室
- 4 単 元 「いろいろな衣装を知ろう」(英語ノート 1 Lesson 5)
- 5 単元目標
 - ・世界の衣装に興味を持つ。 (言語や文化についての体験的な理解)
 - ・英語を使って、自分の欲しい物やその数を伝えることができる。
(外国語の基本的な表現)
 - ・買物ごっこを通して、英語でコミュニケーションを楽しもうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

6 児童の実態

これまでの外国語活動では、「世界の「こんにちは」を知ろう」でいろいろな国の挨拶を紹介をしたり、“ Hello song ” を歌う活動に取り組んだりし、英語に対する興味を持つ児童が増えてきた。また、二学期から、AET の Larry 先生の生の英語に慣れ親しめる環境になり、授業中や休み時間などにも英語を話したり、AET の発音や仕草をまねたりするなど、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ柔軟な適応力を示している。

しかし、一方で、子ども達の日頃の生活場面を見てみると、まだまだ自己中心的で相手の気持ちを考えながらコミュニケーションをすることが苦手な児童が多い。そこで、外国語活動の授業の中で、Larry 先生や担任、クラスの友達と、言語によるコミュニケーションはもちろんのこと、様々なジェスチャーや顔の表情を含めた非言語コミュニケーションも駆使して、双方向に伝え合い、理解し合おうとする態度を育てていきたい。

7 単元指導計画 (4時間)

時	指導内容	学習活動	指導上の留意点	主な単語・会話文
1	いろいろな衣服	世界には様々な衣服があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・写真などを使い、視覚でも外国の文化にふれさせる。	世界の衣装の呼び方 Do you like blue? Yes, I do. No, I don't. I don't like blue.
2	欲しいものは何ですか?	自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付くとともに、好きな衣服を買う場面で使われる表現(欲しい)を知る。	・ゲームを取り入れて楽しく親しませる。 ・自分のほしい物を言えるようにさせる。	What do you want? I want to ~ ~ please.
3	いくつ欲しいですか?	前時の復習をする。 好きな衣服を買う場面で使われる表現(数)を知る。	・自分のほしい物の数をはっきり言えるようにさせる。 ・ゲームを通して会話の楽しさを味わわせる。	How many ? One.two ~ please.
4	買物をしよう(本時)	買物ごっこを通して、英語でコミュニケーションを楽しむ。	・ごっこ遊びを通して会話の楽しさを味わわせる。 ・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買物ができるような声かけをするよう支援する。	How are you? ~, please. Here you are. Thank you. You're welcome.

8 本時の目標(本時 4 / 4)

- ・買物の仕方に興味を持ち、買物に使う表現を知る。(外国語の基本的な表現)
- ・買物ごっこを通して、英語でコミュニケーションを楽しもうとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

9 授業改善の視点

ゲームや歌を楽しむ活動を入れることによって、コミュニケーション能力を高める。

10 小中一貫教育の視点

本時は、買物ごっこを通して、担任、AET、クラスの友達に英語で伝え合う活動を実施する。このような活動を通して、小学校の外国語活動のねらいである「他者を理解し、自分を表現する」コミュニケーション能力を育てていくことが、中学校の学習指導要領で目標としているところのコミュニケーション能力の向上にもつながるものとする。

また、外国語活動の楽しさを十分に味わわせることで、中学校1年生での教科としての外国語にも興味を持ち、スムーズに入っていけるようにつなげていきたい。

11 本時の展開

過程	学習活動	形態	指導者の働きかけ		教材・ 教具等	評価
			T 1	T 2		
導入	AET と挨拶をする。	一斉	児童に日本語で声掛けをする。	Cheerfully greet the students.		
展開	買物をする品物の言い方を復習する。	一斉	児童に発音するタイミングを合わせるように支援する。	Pronunciation	カード	
	数(1~10)の言い方を復習しながら、数の言い方を知る。	一斉	児童に発音するタイミングを合わせるように支援する。	One.two~ please.	カード	
	買物ごっこのせりふの練習をする。	一斉	AET とデモンストレーションをする。	Demonstrate with the HRT.	カード	買物に使う表現を使える(表現) <行動観察>
	隣同士ペアになって練習をする。	ペア	客と店員になったつもりでそれぞれのせりふを言ってみよう指示する。		品物 カード	買物ごっこを通して英語でコミュニケーションを楽しんでいる (関心・意欲・態度) <行動観察>
まとめ	今日の活動を振り返りシートに記入する。	個人	児童の英語を使う態度面について良かったところを話す。		振り返りシート	
	HRT・AET と終わりの挨拶をする。	一斉	児童に今日の学習内容を振り返らせる。	Cheerfully greet the students.		

英語振り返りシート

月 日 ()

今日の勉強 (どんなことをやったかなあ?)

感想 (楽しかったこと、むずかしかったこと、おもしろかった、気が付いたことなど)

月 日 ()

今日の勉強 (どんなことをやったかなあ?)

感想 (楽しかったこと、むずかしかったこと、おもしろかった、気が付いたことなど)

理科学習指導案

指導者 T1 宇治市立広野中学校 森 光志朗

T2 宇治市立大久保小学校 東 準子

- 1 対象 宇治市立大久保小学校 第6学年4組 男子15名 女子18名 計33名
- 2 日時 平成22年2月23日(火) 第5校時 (13:35~14:20)
- 3 場所 宇治市立大久保小学校 理科室
- 4 単元 ものが燃えるとき
- 5 児童の実態

6年の児童は、これまで「科学の目」をキーワードに、様々な事象について、探究活動を行ってきた。「なぜ？」を出発点に、じっくりと観ることで課題解決のヒントをつかみ、友だちと意見を交流する中で、ものの仕組みや変化の決まりを学び取ってきた。

また、児童が素直に課題に対して疑問を持ち、観察・実験結果に驚きをもって取り組めるように、教科書は単元が終わるまで見せないようにしている。そして授業はワークシートに沿って課題を明らかにし、予想 予想した理由 実験 結果 考察の順に学習を進めてきた。

こうした中で、児童は、発見の楽しさや探究の面白さを実感し、進んで観察や実験を行うようになり、友だちの意見にも耳を傾けるようになってきた。しかし、積極的に自分の意見を言える児童が少なく、ワークシートに記入してから発表させるなど、積極的に自分の意見を言えるよう工夫も行ってきた。

本単元では、児童が既習の知識や概念、実験方法などを活用し、主体的に学習課題を解決することができるよう指導計画を立てた。

本時では、「上下、どちらのろうそくが先に消えるか」という課題を提起する。この課題は、既習の知識や生活経験をもとに、自由に理由付けながら予想しやすい課題だと思われるので、その予想をもとに、「自ら調べてみたい」という意欲をかきたて、ものが燃えるときの空気の流れをより深く理解することができればと考えている。

6 単元目標

- ・ものの燃え方に興味をもち、燃焼のしくみについて調べようとする。
(自然事象への関心・意欲・態度)
- ・ものが燃え続ける条件や、燃えるときに増減する気体のはたらきを考えることができる。
(科学的な思考)
- ・ものが燃えるときの空気の流れや、燃える前後の空気の変化を調べ、記録することができる。
(観察・実験の技能・表現)
- ・燃焼のしくみについて理解することができる。
(自然事象についての知識・理解)

7 単元指導計画

次	時	指導内容	学習活動
一	1	木切れを燃やそう	木切れを実際に燃やしてみる。
	2	木切れをもっとよく燃やそう	木切れをよく燃やすには、どうすればよいか考えて、調べてみる。
二	3	ものを燃やすために	缶の下の方に穴を開けるとよく燃えるのはどうしてか、考える。
	4	ものを燃やすために	ものの燃え方と空気の流れを、線香のけむりで調べてみる。

三	5	空気の成分と変化	ものが燃える前の空気と燃えた後の空気の違いを、気体検知管を使って調べてみる。
	6	空気の成分と変化	酸素や二酸化炭素、窒素の中で線香を燃やすとどうなるか調べてみる。
	7	違う方法で確かめよう	石灰水を使って、ものが燃える前後の空気の違いを調べてみる。
四	8	学習したことをまとめよう	燃え続ける条件、酸素が使われ二酸化炭素ができる、酸素のはたらきなどをまとめる。
五	9	発展的内容にチャレンジしよう (本時)	ものが燃えるときの空気の流れを、理由を付けて考えた後、調べてみる。

8 本時の目標 (本時 9 / 9)

- ・上下どちらのろうそくが先に消えるか、理由を付けて説明することができる。
(科学的な思考)
- ・上下どちらのろうそくが先に消えるか、調べて記録することができる。
(観察・実験の技能・表現)

9 授業改善の視点

- ・既習の知識や生活経験をもとに、課題に対しての予想や理由を話し合わせることで、児童の持っている考えをより深いものにする。
- ・ろうそくが上からも下からも消える現象を示すことで、「なぜ、そうなるのか」という児童の興味・関心を高める。

10 小中一貫教育の視点

- ・「自分の考えを持つ」「他の人に伝える」「友だちの意見を聞いて、考えを深める」といった手立てを通して、「自分の気持ちや考えを伝え合うことができる児童生徒の育成」を図る。
- ・「温められた空気(二酸化炭素を含む)は上昇する」性質と「二酸化炭素は空気より重いので下降する」性質は、中学校の「いろいろな気体の性質」や「密度」などの学習につながっていることに留意して指導する。

11 本時の展開

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点		教材・ 教具等	評価 (評価観点) <評価方法>
				T 1	T 2		
導入	既習事項の確認	一斉	ものが燃え続ける条件、燃えるとき酸素が使われ二酸化炭素ができることなどを思い出す。	・各実験台の前の方に座らせる。	・机間指導し、集中を促す。	容器・フタ・ろうそく・燃焼さじ・ガスマッチ ・2段にした燃焼さじ	
	本時の課題、めあての提示	一斉	課題、めあてを知る。				

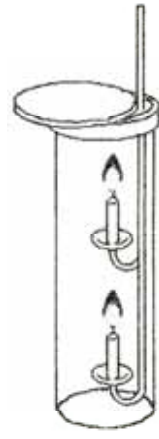
閉め切った容器の中で、上にあるろうそくと下にあるろうそくを燃やすと、どちらのろうそくが先に消えるだろうか。

展 開	各自で結果を予想させる。	個別	既習の知識や生活経験などから理由を付けて予想し、ワークシートに記入する。	・ 机間指導しながら、児童の状況を把握する。	・ 机間指導し、児童の理解度に応じて既習の知識を思い出させる。	・ ワークシート	上下どちらのろうそくが先に消えるか、調べて記録することができたか。(技能・表現) <ワークシート>
	各自の予想をもとに話し合わせる。	一斉 グループ	自分の考えを理由を付けて発表する。	・ 意見が出にくいようならグループ討議を行わせる。	・ 挙手を促す。		A ...実験中に気付いたことなども記録されている。
		個別	みんなの意見を聞いて、最終的な判断を記入する。	・ 初めに書いた予想は消させないようにする。			C ...板書内容を写すよう指示する。
	実験を行わせる	グループ	2本のろうそくを使って、実験する。	・ 各実験台の後ろの方で実験するよう指示する。	・ 児童の安全に配慮する。		上下どちらのろうそくが先に消えるか、理由とともに説明することができたか。(思考)
	個別	結果から分かることをワークシートに記入する。	・ 正確に実験ができるよう、火をつけないで練習させる。			<発表・ワークシート>	
	結果、考察について話し合わせる	一斉	ワークシートに記入した内容をもとに発表する。	・ 予想との関係、整理を行う。	・ 全員を前の机に移動させる。		A ...既習の知識や生活経験を活用して、複数の視点から理由付けができています。
ま と め	演示実験を行う。	一斉	演示実験を見る。	・ 実験後の容器に燃えたるろうそくを入れる実験を演示する。	・ 演示実験の補助をする。		C ...既習の知識や生活経験を思い出すよう支援する。
	本時のまとめを行う。	個別	ワークシートに「感想」を記入する。	・ 本時の学習で気付いたことや驚いたことも記入するよう促す。	・ 机間指導し、記入が遅い児童を支援する。		

閉め切った容器の中で、上にあるろうそくと下にあるろうそくを燃やすと、どちらのろうそくが先に消えるだろうか。

< 予想 >

< 理由 > (習った知識や生活経験などから)



< みんなの意見を聞いて >

< 結果 >

< 結果から分かること >

< 感想 > (疑問に思ったことや、さらに調べてみたいことなど)

算数科学習指導案

指導者 T 1 宇治市立広野中学校 稲田 尚美
T 2 宇治市立大開小学校 三浦知恵子

- 1 対象 宇治市立大開小学校 第6学年2組 男子 15名 女子 13名 計 28名
- 2 日時 平成22年 2月23日(火) 第5校時 (13:35~14:20)
- 3 場所 宇治市立大開小学校 ランチルーム
- 4 単元 算数パスポート (6年のまとめ)
- 5 児童生徒の実態

本学級は、真面目に学習に取り組み、活発に発言をする児童が多い。しかし、おとなしく発言の少ない児童もいる。考えを持ちながら発表に自信がない児童には、励ましの言葉かけで発言を促していきたい。また図形領域では、興味をいただいているが作図を苦手とする児童も多いので、一人一人にていねいにに関わり、つまずきを発見しそれに対する支援を行いたい。

6 単元目標

6年生までの既習問題を復習し、定着を図る。

7 単元指導計画(全15時間)

次	時	指導内容	学習活動
一	1	整数、分数、小数	数直線を読み取る。整数と小数の相互関係を理解する。倍数・約数を理解する。
	2	小数と分数の相互関係	小数と分数の意味とその構造・相互関係を理解する。
	3	量と単位の相互関係	いろいろな単位の相互関係を理解する。
二	4	加減乗除の計算	小数・分数を含む加減乗除の計算の決まりを復習する。割り算の様々な答えの出し方や四捨五入を復習する。
	5	計算のきまりを使った計算の工夫	計算の決まりを利用し計算しやすいように工夫する。
	6	概数の計算、答えの見積もり	概数の計算や答えの見積もりを行う。
三	7	作図や角度のまとめ(本時)	平行、三角形や四角形の意味とその作図の仕方を復習する。
	8	面積の求め方のまとめ	面積の求め方を復習する。
	9	体積の求め方のまとめ	体積の求め方を復習する。
四	10	式の使い方のまとめ	文章を読んで式を立てる。
	11	割合と比のまとめ	割合と比の意味を復習する。
	12	単位量あたりと速さ	単位量あたりや速さの意味・計算方法を復習する。
	13	ともなって変わる量のまとめ	比例の概念に触れる。
五	14 15	いろいろな考え方を使って問題を解決させる。	いろいろな考え方をを使って問題を解く。

8 本時の目標 (本時 7/15)

- ・正三角形や平行四辺形のかき方が分かり、すばやく正確にかくことができる。(表現・処理)
- ・平面図形の角度の求め方を理解する。(知識・理解)

9 授業改善の視点

本時では答えを導いていく過程を大切に、児童らが筋道を立てて説明できるように心がける。そのために次の点に留意する。

- ・作図の復習では方法を理解し作図を行うだけでなく、作図方法を説明し伝えあう場面を作る。
- ・角度の復習では角度を求めるだけでなく、どうしてそうなるのかの理由を個々に記述し、発表する場面を作る。
- ・小学校での既習内容を使い角度を求めていく中で、対頂角の性質(中学校で学習)についても気付かせる。

10 小中一貫教育の視点

小学校から中学校にかけて児童生徒が意欲的に算数・数学を学んでいくためには、両校の教師が小学校や中学校での指導方法や児童生徒の実態、つまずきやすい点を十分に把握し、それを小学校や中学校での指導に生かしていくことが大切である。そして、小学校の算数の延長線上に中学校の数学があることに気付かせなければならない。また、具体的なことがらを扱う算数から抽象的なことがらを扱うことが多くなる数学への橋渡しとして、6年生児童には抽象化への基礎として算数の定着を図ることが大切である。

本時の授業では特に以下の3点を意識した授業を行う。

- ・ 正三角形の作図の復習では中学1年で学習する作図を視野に入れ、コンパスの使い方やコンパスの使用目的を復習し確認をする。
- ・ 角度を求める学習では、内角の和と直線が 180° であることを復習し、それを利用し平行四辺形の角度を求める。その中でどのように角度を求めたかを児童が説明する場面を作ることで、中学2年の「図形の調べ方」で学ぶ、論理的な証明を意識した授業展開を行う。
- ・ 交わった2本の直線のなす角度を求める中で、児童がすでに学んだことから対頂角の性質に気付かせ、中学校での学習内容に興味を持たせる。

11 本時の展開 (7 / 1 5)

過程	指導内容	指導形態	主な学習活動	指導上の留意点		教材・教具等	評価 (評価観点) <評価方法>
				T 1	T 2		
導入	本時のめあての確認	一斉	教師の話聞く。	本時の目標を伝える。	集中して話が聞けるようにする。		
展開 1	正三角形と平行四辺形の作図	個別	正三角形の作図と平行四辺形の作図をする。 早く終わった児童は周りの児童に教える。 また、他の作図方法を考えてみる。	机間指導をしながら早くかき終わった代表児童に白板での作図を促す。	作図方法を忘れている児童にコンパスや分度器の使い方を教え一緒に作図をする。 白板での作図を援助する。	コンパス・分度器・三角定規・定規	正三角形や平行四辺形のかき方が分かり、すばやく正確にかくことができる(表現・処理) <観察> A: コンパスや分度器の使い方を理解し、かくことができる。
	答え合わせ	一斉	白板に作図をする。 作図方法を説明する。	作図の解説。このときにコンパス・分度器の使い方を復習する。 正三角形や平行四辺形の定義や性質の復習を行う。	発言しやすい雰囲気を作る。		C: コンパスや分度器の使い方を支援する。

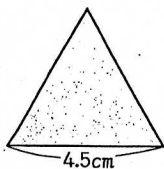
<p>展 開 2</p>	<p>平行四辺形の角度を求める 答え合わせ</p>	<p>個別 一斉</p>	<p>平行四辺形の角度を求める。早く終わった児童は周りの児童に教える。 角度の求め方を発表する。</p>	<p>三角形の内角の和や平行四辺形の性質を利用することを助言する。 三角形の内角の和や平行四辺形の性質を復習する。 他の求め方がないか考えるように、促す。 (同位角の考え方を使って求める方法に気が付かなければ教師が説明)</p>	<p>今までの学習内容を思い出せるよう個別指導する。 いろいろな意見を認め児童どうしが学び合えるような雰囲気をつくる。 躊躇している児童に発言を促す。</p>		<p>角度の求め方を理解できる (知識・理解) <発表・ワークシート> A：根拠を持って角度の求め方を説明できる。</p>
<p>展 開 3</p>	<p>対頂角の説明</p>	<p>一斉</p>	<p>対頂角の関係にある角度を計算して求める。 気が付いたことを発表する。 三角定規で確認する。 自分で適当に引いた線でも対頂角は等しくなることを確認する。</p>	<p>角度を求めていくと、対頂角の関係にある角度が等しくなることを児童に気付かせる。 計算だけではなく三角定規を使い確認する。 どんな線でもそうなるのか確認する。 対頂角の概念に触れる。</p>	<p>机間指導を行いながら、児童の気付きに共感し、児童の意欲を高め発言を促す。 中学校での学習に興味を持てるよう個別指導する。</p>	<p>三角定規・分度器</p>	<p>C：内角の和が180°であるということをもとにして考えるように促す。</p>
<p>ま と め</p>	<p>本時のまとめを行う。</p>	<p>一斉</p>	<p>プリントや白板をみて復習する。</p>	<p>正三角形と平行四辺形の作図方法、平行四辺形の角度を求める方法をまとめる。</p>	<p>集中して話が聞ける雰囲気をつくる。</p>		

3つめの部屋 図形

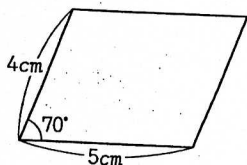
平面図形 (教科書 p 64)

1 下のような図形をかきましょう。

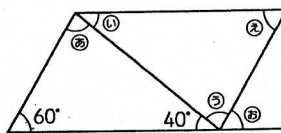
ア 正三角形



イ 平行四辺形



2 下の平行四辺形で角㉑、㉒、㉓、㉔、㉕はそれぞれ何度ですか。



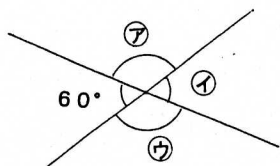
- ㉑ (°)
- ㉒ (°)
- ㉓ (°)
- ㉔ (°)
- ㉕ (°)

㉕の求め方

中学校の予習

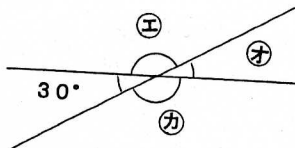
3 下の図で、角ア、イ、ウはそれぞれ何度ですか。計算してみましょう。

- ア = (°)
- イ = (°)
- ウ = (°)



4 下の図で、角エ、カ、キはそれぞれ何度ですか。計算してみましょう。

- エ = (°)
- カ = (°)
- キ = (°)



5 自分で2本の線が交わるように線をかいて、それぞれの角度をはかってみましょう。

道徳学習指導案

指導者 T1 宇治市立大久保小学校 市橋 公也
T2 宇治市立広野中学校 第1学年教員

1 対象 宇治市立広野中学校 第1学年 男子100名 女子100名 計200名

2 日時 平成22年2月23日(火) 第5校時(13:30~14:20)

3 場所 宇治市立広野中学校 体育館

4 主題名・資料名 「夢」(内容項目1-(2)希望・勇気・強い意志)
<吉川勝成氏(元プロ野球投手)を迎えて>

5 生徒の実態

2学期に、主題名「友情・信頼」(内容項目2-(3))・資料名「絆」(2008箱根駅伝)の学年道徳を対象生徒に実施した。体育館での初対面の教師の授業は、緊張感や新鮮さも手伝ったのか、聞く態度もよく、眼差しを指導者に向け、真剣な様子であった。ただし、質問・意見等の反応は少なく、小学校のように子どもの意見の絡みで展開していく授業を試すのは難しかった。ところが、教室での事後指導のワークシートを見ると、どれもしっかり書けていて、実践への決意が感じられるものが多かった。小・中学校の児童生徒の実態の違いを垣間見るとともに、「書く」表現力を生かすことが有効である実態が伺えた。

6 本時の目標 (本時 1/1)

目標を立て、くじけずに希望をもって取り組み、理想に向かって前進していく心情を育てる。

7 授業改善の視点 <生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の提示>

小学校での道徳教材開発の手法を取り入れた授業を行う。ゲストティーチャーと恩師である小学校教員との対談という新鮮な形式から「主題」が生徒の心に響く道徳授業を行う。また、体育館で学年合同授業を行うことが、一体感や生徒相互の刺激の中での道徳性の育成等の効果をもたらすと考える。

8 小中一貫教育の視点 <夢や希望をもち、自己の生き方を考える児童生徒の育成>
義務教育9年間を一貫して、「自己の生き方を追究する力」を育成していく。

前期(1~4年)	中期(5~7年)	後期(8~9年)
自分のよさに気付く 身のまわりの自然・もの ・社会にふれ、やりたい ことを見付ける。	自己の可能性を追究する 他者のすばらしさを認め、 自分の可能性・価値観 について考える。	これからの生き方を探る 自分の適性・個性を理解 し、進路選択に生かす。

中期から後期への過渡期である生徒に、インパクトのある教材を投げ掛けることによって、本格的に「自分さがし」に旅立たせる。

9 本時の展開

過程	学習活動	形態	主な発問 予想される生徒の反応	指導上の留意事項		資料・評価等
				T 1	T 2	
導入	1 本時のめあてを知る。(2分) 2 講師について知る。(3分)	一 斉	T1吉川勝成さんを知っているか。 C知らない。	・DVDで講師紹介をする。	・めあて、T 1を紹介する。	パワーポイント・DVD * 講師への意識の高まり
展開 ・ 前 段	3 講師とT 1の対談を聞く。(25分)	一 斉	T1吉川さんの少年時代の夢は何だったのだろう。 T1夢に向かって、どんな努力をしたのだろう。 T1プロ野球での9年間を振り返って、今思うことは何だろう。	・パワーポイントやDVDを交え、対談に集中する雰囲気をつくる。 ・生徒からの質問を適宜受ける。	・対談に集中させる。	資料「元プロ野球投手吉川勝成氏との対談」BGM・パワーポイント・DVD * 資料理解への集中
展開 ・ 後 段	4 講師の考え方に学び、自分を振り返る。(10分)	一 斉	T2吉川さんから学んだことを考えてみよう。 T2印象に残ったこと、共感したことはどんなことか。 C今から夢を持つこと。 C夢に向かって努力すること。 C夢をあきらめないこと。	・講師をいったん退場させ、実技に備えさせる。	・地元の先輩の経験であることを強調し、自分を振り返らせる。 ・数人に発言させる。 ・事後にWSに書くことを知らせる。	* ねらいとする価値の把握 * 自らの生活の振り返り WS (ワークシート)
終末	5 講師の実技を見る。(7分) 6 指導者のまとめを聞く。(2分) 7 学習の振り返りをする。(1分)	一 斉	T1最後に、投球を見よう。 C実際の投球を興味深げに見る。 T1中2への進級に際し、講師のように、自分の適性や個性に合った夢を抱き、夢に向かって前進していこう。 T2集中した態度だった。 T2講師に感謝しよう。	・再登場後の講師の投球に合わせ、アナウンスをする。 ・夢をもつことの大切さ、実現に向けて努力することのすばらしさを確認する。	・投球を見る隊形に変え、集中させる。 ・意欲的な態度を評価する。	BGM・防球ネット * 実践へのそつとした決意 * 講師への感謝

学年道徳「夢」 ワークシート

平成22年2月23日(火)

宇治市立広野中学校 1年()組

氏名()

1. 吉川さんの「経験談」を聞いて...

印象に残ったこと、共感したことはどんなことか。

自分にとっての「夢」とは？

「夢」に向かってどうするか。

2. 今日の授業の感想を書こう。

